

聴いて楽しい、見て楽しい。



神戸女学院生が語る、奏でる

ピアノの名器たちの魅力 ベーゼンドルファー と スタインウェイ

2011年12月4日(日) 14:00開演 (13:30開場)

福岡県 八女市民会館
「おりなす八女」ハーモニーホール

入場料 (全席自由) 1,000円 高校生以下 500円 ※未就学児の入場は
ご遠慮下さい。

出演 神戸女学院大学大学院音楽研究科生

企画・構成 神戸女学院大学音楽学部
「ミュージック・コミュニケーション講座」
2010年、2011年度履修生

曲目

L.v.ベートーヴェン
〈ピアノ・ソナタ〉第8番「悲愴」第1楽章

F. シューベルト (即興曲) 作品90-2

J. ブラームス
《6つの小品》より 〈間奏曲〉 作品118-2

F. リスト 〈メフィスト・ワルツ〉 第1番

C. ドビュッシー
《前奏曲集》第1集より第5番 〈アナカプリの丘〉

A. スクリャーピン
《12の練習曲》より 〈練習曲〉 作品8-2 & 12

F. シューベルト 〈ます〉 (ドイツ歌曲)

C. シャミナード
〈フルートと管弦楽のためのコンチェルティーノ〉

C. ドビュッシー 〈小組曲〉より第4番 〈バレエ〉 (連弾)

J. ブラームス 〈ハンガリー舞曲〉 第5番 (連弾)

※曲目は変更する場合がございます。予めご了承ください。

主催 おりなす八女開館記念事業実行委員会

共催 神戸女学院大学音楽学部

後援 公益社団法人神戸女学院教育文化振興めぐみ会
クラブ ファンタジー (神戸女学院大学音楽学部同窓会)
NPO法人 八女ベーゼンドルファー音楽祭プロジェクト

協力 株式会社B-tech Japan、株式会社松尾楽器商会



このコンサートは、文部科学省 平成21年度「大学教育充実のための戦略的
大学連携支援プログラム」選定「音楽系3大学による共同プロジェクト
音大連携による教育イノベーション 音楽コミュニケーション・リー
ダー養成に向けて」プロジェクトの一環として行われるものです。

お問い合わせ おりなす八女 tel 0943-22-5332



聴いて楽しい、見て楽しい。



神戸女学院生が語る、奏でる

ピアノの名器たちの魅力 ベーゼンドルファー と スタインウェイ

古きよきウィーンの薫りを今に伝えるベーゼンドルファーと、
近代アメリカの技術の粋を尽くしたスタインウェイ。

このピアノの名器たちの歴史と文化を、神戸女学院大学の学生たちが語り、奏でます。

ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスを

ベーゼンドルファーの味わい深い響きで、

リストやシャミナード、ドビュッシーやスクリャーピンを

スタインウェイの輝かしい音色でお届けします。

学生たちの力と才能にご期待下さい。

(当日、ロビーでの展示と説明を学生たちが行います。こちらにもお越し下さい。)

チケット取扱

おりなす八女 (おりなす八女のみ電話予約ができます)

八女市役所黒木総合支所 / 立花支所 / 上陽支所 / 矢部支所 / 星野支所
サザンクス筑後 / 久留米文化情報センター (石橋文化センター内)

お問い合わせ

おりなす八女 (9:00 ~ 17:00) 月曜日休館

〒834-0031 八女市本町 602-1

TEL 0943-22-5332 FAX 0943-23-2199

神戸女学院大学音楽学部 連携ルーム (平日 8:50 ~ 16:50)

TEL 0798-51-8588

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山 4-1

E-mail : kobe-c@music-communication.com

<http://www.kobe-c.ac.jp/musicdp/renkei>



神戸女学院大学 音楽学部

神戸女学院大学は 1875 年の創立以来、「愛神愛隣」の精神、リベラル・アーツ教育、少人数教育を柱に 136 年の歴史を刻んでいます。1906 年には音楽科が設けられ、優れた音楽家を多数輩出してきました。ピアノ、声楽、管弦打、ミュージック・クリエイション、舞踊の各専攻と並んで、小中学校や病院などへ音楽プログラムを提供したり、「子どもためのコンサート」を展開する「音楽によるアウトリーチ」活動にも積極的に取り組んでいます。

おりなす八女開館記念事業 これからのラインアップ

アクロス・レインボーコンサート in 八女

2011 年 12 月 11 日 (日)

和洋楽器で奏でるクリスマスソング

宝くじおしゃべり音楽館

2012 年 3 月 4 日 (日)

たのしいおしゃべりと素敵な歌と音楽

演奏: 東京ニューシティ管弦楽団

ピアノ: 小原孝、歌: 島田歌穂

司会: 清水ミチ子

おりなす八女周辺地図

